

社団法人日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境会議
グリーンロジスティクスチェックリスト
2009 年度調査 ご回答にあたって

ロジスティクス環境会議
グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG

●自社の取り組み度合いを選択する際に

【基本的事項】

- ① チェック項目ごとに、実施度合いをご確認いただき、自社に該当する番号を回答欄にご記載ください。
- ② 自社の取り組み度合いが、実施度合いと合致しない場合（実施度合いの中間等）であっても、必ず実施度合いの数値でご回答ください。（1.5、2.5 等小数点表示の回答は行わないで下さい。）
- ③ 自社が全く該当しない項目については、0 とご回答ください。

【物流事業者の方へ】

一般的に捉えると、下記項目については、物流事業者では該当しない項目と考えられます。

1.2 環境に配慮した製品開発・生産体制	<チェック項目 23~26>
1.3 商取引の適正化	<チェック項目 27~32>
2.1 包装の見直し	<チェック項目 42~51>

しかしながら、自社としての取り組みに該当しない場合であっても、原則として「検討→荷主に対して提案、実施→提案を受けて荷主が実施」と読み替えてご回答ください。

<一例>

●チェック項目 23、24、25、26

- ・ 検討 → 発荷主への提案
- ・ 製品開発を実施 → 物流事業者からの提案を受けて、発荷主が製品開発を実施

例 物流子会社が発荷主である親会社に対し、製品開発時に提案を行う。

*主たる輸送委託元が発荷主ではない場合、あるいは発荷主ではあるが、非製造業（流通業、物流事業者）の場合は、“該当しない”をご回答ください。

●チェック項目 27、28、29、30

- ・ 取引先 → 発荷主
- ・ ロット割引等 → パレット単位、ケース単位、ピース単位での発荷主への料金請求等

●チェック項目 42～51

- ・ 検討 → 発荷主への提案
- ・ 取り組み → 物流事業者からの提案を受けて発荷主が取り組み実施

* 荷主に対する提案は、自社の業務外（担当外）と認識される場合は、
“0. 該当しない”を選択いただいで結構でございます。

以 上